

4

技術協力専門家の派遣

開発途上地域の経済・社会の発展を支援するため、JICAは様々な分野の技術を有する方を「技術協力専門家」として海外に派遣しています。技術協力専門家は相手国の政府関係機関や研究機関

● 専門家派遣実績 (含・短期専門家) 1983～2000年度 (前年度からの継続分を含まず)

	派遣数	アジア地域	バンラデシユ	カンボディア	中国	インドネシア	ラオス	マレーシア	ミャンマー	ネパール	パキスタン	フィリピン	シンガポール	スリランカ	タイ	ヴェトナム	ブータン	モンゴル	中近東地域	エジプト	イラン	ジョルダン	モロッコ	オマーン	サウディ・アラビア	テュニジア	トルコ	
1983	1																											
1984	0																											
1985	0																											
1986	1																											
1987	0																											
1988	3	1												1														
1989	6	4						2		1				1														
1990	14	6									1	2		3					3						1		2	
1991	22	8				1	2	1	1	1				2					6		2	2					2	
1992	27	14				2	4	2			1	1	1	3					1									
1993	42	24	1		1	3	11		2	2		1		3					1								1	
1994	26	10				4	3				1	2							1								1	
1995	36	17				3	6	2	1			2		3					2	1							1	
1996	43	29				2	19			3		1	2	2					3				1			1	1	
1997	35	24		1		6	9	1				5		2					4					1		1	2	
1998	26	15			4	3	3					2		1	1	1			4					1		2	1	
1999	48	29				9	12	1	2			2				1			2		1					1		
2000	34	16			1	3	5	1		1			1	2		2			3			1				2		
計	364	197	1	1	6	36	74	10	6	7	2	15	4	6	20	4	1	1	30	1	3	3	1	2	1	8	10	

等に所属し、それぞれの専門分野で技術指導、政策策定等に関わる助言・指導を行います。2001年3月までに、沖縄県からは364名（件数）の専門家が50の国に派遣されています。平成12年度には、沖縄県から34名の専門家が19の国に派遣されました。

アラブ首長国連邦	オセアニア地域	キリバス	ソロモン	トンガ	アフリカ地域	コモロ	ケニア	マラウイ	モリシヤス	タンザニア	ザンビア	マダガスカル	ニジェール	中南米地域	アルゼンティン	バルバドス	ポリヴィア	ブラジル	チリ	ドミニカ共和国	メキシコ	ニカラグア	パナマ	パラグアイ	ウルグアイ	グアテマラ	欧州地域	マケドニア
														1		1												
														1		1												
					1	1								1		1												
					1		1							1						1								
					2		2							3		1	2											
		3	2		1									5		1	2						1		1			
1	5		4	1	2		1				1			5	1		2			1				1				
	4		4		3		1				2			10			4			2	3			1				
	3		3											12	2		1	1		3	4	1						
	3		3		3		1		2					11	1		2			3	4	1						
					3			1	1	1				8		3	2				3							
					1		1							6		1	4	1										
					2		1		1					5		3				1				1				
	1		1		5		2					2	1	10		3					4		2			1	1	1
					4				1	1		1		11			1	1			6		1	2				
1	19	2	15	2	27	1	10	1	5	2	3	3	1	90	4	1	20	15	2	11	24	2	4	5	1	1	1	1

●—— 帰国専門家の活動支援

技術協力専門家は日本の国際協力の要員として現地で活躍し、また帰国後も国際協力のよき理解者として、国際協力・国際交流に貢献しています。平成3年度には「沖縄県JICA帰国専門家連絡会」が結成され、講演会の開催や国際協力関連のイベントへの参画、会誌「いちやりばちょうでえ」の発行等の活動を展開しており、当センターも支援を行っています。

また、平成9年度より専門家の一般公募制が導入されましたが、これによって帰国専門家のネットワークが広がり、より多くの優秀な人材が国際協力に参加するようになることが期待されています。

5 ボランティアの派遣

開発途上国で、地域の住民とともにその地域の経済や社会の発展を促進させるボランティアを派遣する事業です。JICAが派遣するボランティアには、青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティアがあります。

●—— 青年海外協力隊

青年海外協力隊は、技術や知識を活かして開発途上国の国づくり、人づくりに協力しようとする青年（20歳から39歳）を募集・派遣し、その活動を支援する事業です。青年海外協力隊員は、派遣された国の人々と共に生活し、働き、彼らの言葉を話し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進させる形で協力活動を展開します。沖縄県からは、2001年3月までに194名の隊員が52の国に派遣されています。平成12年度には7名の隊員が派遣されました。

青年海外協力隊の選考状況

		5/春	5/秋	6/春	6/秋	7/春	7/秋	8/春	8/秋	9/春	9/秋	10/春	10/秋	11/春	11/秋	12/春	12/秋
参加者数		109	178	172	165	197	169	260	215	344	160	255	216	173	145	177	122
応募者数		44	53	76	80	80	51	49	53	50	48	53	62	62	62	51	62
次 選 考	受験者	22	35	466	57	55	37	32	33	36	38	35	37	45	44	38	40
	受験率	50.0%	66.0%	60.5%	71.3%	68.8%	72.0%	65.3%	62.3%	72.0%	79.1%	66.0%	59.7%	72.6%	71.0%	74.5%	64.5%
	合格者	15	14	12	14	18	9	15	8	14	12	19	16	13	13	15	11
	合格率	68.2%	40.0%	26.1%	24.6%	32.7%	24.0%	46.9%	24.2%	41.6%	31.5%	54.3%	43.2%	28.9%	29.5%	39.5%	27.5%
二 次 選 考	受験者	13	12	11	13	17	9	15	8	13	12	18	15	11	11	15	11
	受験率	86.7%	85.7%	91.7%	92.6%	94.4%	100%	100%	100%	92.8%	100%	94.7%	93.8%	84.6%	84.6%	100%	100%
	合格者	8	6	6	10	8	2	7	3	4	5	8 (2)	5 (2)	2 (2)	7	6 (1)	3
	合格率	61.5%	50%	54.5%	76.9%	47.1%	22.2%	46.7%	37.5%	30.7%	41.6%	44.4%	33.3%	18.2%	63.6%	40%	27.3%

(注) ()内数字は有資格者及び登録者数で外数。

青年海外協力隊／年度別派遣実績

平成13年 3月31日現在

年 度	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	合 計
派遣人数	3	3	5	2	3	1	4	0	2	2	3	0	
年 度	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	
派遣人数	2	4	5	4	11	11	12	9	8	10	12	7	
年 度	4	5	6	7	8	9	10	11	12				194
派遣人数	2	10	10	8	12	7	5	10	7				

青年海外協力隊／国別派遣実績

地 域	国 名	派遣数	地 域	国 名	派遣数	
アジア地域 (73名)	バングラデシュ	9	アフリカ地域 (63名)	エチオピア	5	
	カンボディア	1		ガーナ	1	
	中国	1		コートジボアール	2	
	インド	4		ケニア	14	
	インドネシア	2		リベリア	3	
	ラオス	6		マラウイ	13	
	マレーシア	11		ニジェール	2	
	モルディブ	2		セネガル	3	
	モンゴル	1		タンザニア	13	
	ネパール	10		ザンビア	4	
	フィリピン	9		ジンバブエ	3	
	スリ・ランカ	4		中近東地域 (15名)	エジプト	1
	タイ	12			ジョルダン	4
	ヴェトナム	1			モロッコ	3
		シリア	4			
		チュニジア	1			
中南米地域 (29名)	ボリビア	2	大洋州地域 (11名)	イエメン	2	
	チリ	1		フィジー	2	
	コスタ・リカ	2		パプア・ニューギニア	1	
	ドミニカ共和国	3		トンガ	2	
	エクアドル	1		サモア	5	
	エル・サルヴァドル	3	ミクロネシア	1		
	グアテマラ	2	ヨーロッパ地域 (3名)	ブルガリア	1	
	ホンデュラス	4		ハンガリー	1	
	メキシコ	1		ポーランド	1	
	ジャマイカ	1				
	ニカラグア	1				
	パラグアイ	7				
	ペルー	1				
				計	194	

青年海外協力隊／職種別派遣実績

部門	職種	派遣数	部門	職種	派遣数
農林水産部門 (47名)	稲作	3	土木建築部門 (17名)	土木設計	1
	園芸作物	2		道路設計	1
	花き	1		土質検査	2
	野菜	12		土木施工	6
	果樹	4		道路	1
	病虫害	1		測量	2
	土壌肥料	3		都市計画	1
	農業土木	3		建築	1
	農業機械	3		造園	1
	家畜飼育	5		配管	1
	獣医師	2	保健衛生部門 (27名)	医師	1
	村落開発普及員	2		看護婦(士)	7
	食品加工	1		助産婦	5
	水産物加工	3		保健婦(士)	5
	森林経営	1		臨床検査技師	1
	水産統計	1		理学療法士	3
加工部門 (7名)	陶磁器	1	教育文化部門 (42名)	薬剤師	2
	木工	1		養護	1
	板金	1		義肢装具士・制作者	1
	溶接	1		マラリア・風土病対策	1
	織物	1		経済	1
	染色	1		文化人類学	1
	製版	1		生態学	1
	保守操作部門 (37名)	工作機械		2	司書
冷凍機器・空調		3		システムエンジニア	3
電気機器		3		青少年活動	1
電気工事		1		視聴覚教育	1
電子機器		5		美容師	2
無線通信機		1		家政	4
電子計算機		1		料理	1
電話交換機		4		婦人子供服	1
電話線路		1		音楽	4
船舶機関		1	日本語教師	4	
自動車整備		15	理数科教師	9	
スポーツ部門 (8名)		その他(9名)	調整員	小学校教諭	1
				技術科教師	1
				幼稚園教諭	3
その他(9名)		調整員	数学教師	体育	2
	陸上競技			2	
	水泳			1	
その他(9名)	調整員	バレーボール	バレーボール	2	
			ソフトボール	1	
その他(9名)	調整員	調整員	ソフトボール	1	
			調整員	9	

技術補完研修受入実績

	研 修 機 関	研 修 内 容	人数
平成10年度 (14名)	沖縄アルゼンティン協会	企画・編集・広報	1名
	県立中部病院	臨床検査	1名
	東京農業大学宮古亜熱帯農場	野菜栽培	12名
11年度 (17名)	外間農場	有機農法による野菜栽培	1名
	ファインフルーツ沖縄	熱帯果樹の栽培	1名
	サザントロピカルフルーツ	熱帯果樹の栽培	1名
	琉球大学農学部	飼料分析、採取、保存、草地監理	1名
	沖縄県畜産試験場	飼料調整、播種、採取、栽培試験	1名
	東京農業大学宮古亜熱帯農場	野菜栽培全般 野菜栽培管理、有機農業	5名 7名
12年度 (20名)	外間農場	野菜栽培と堆肥の醸成	1名
	サザントロピカルフルーツ	熱帯果樹栽培	2名
	宮城農園	養鶏全般	1名
	神里農場	農村改良普及及び農業について	2名
	東京農業大学宮古亜熱帯農場	野菜栽培全般	6名
		一般農場実習（特に有機農法）	1名
		水耕栽培の技術習得	1名
野菜栽培と堆肥の醸成		6名	

●—— シニア海外ボランティア

シニア海外ボランティアは、専門技術・知識と指導経験を有する中高年者（40歳から69歳）の人材を開発途上国に派遣し、相手国の人材育成を通じて国造りを支援する事業です。沖縄県からは、2001年3月までに5名（件数）のボランティアが5ヶ国に派遣されています。平成12年度には2名のボランティアがタイとメキシコに派遣されました。

シニア海外ボランティア派遣実績

	氏名	派 遣 国	派遣期間	職種
1	知念 邦	西 サ モ ア	1996年 2月～1998年 2月	公衆衛生
2	宮里 勲	ホンデュラス	1998年10月～2000年10月	鉄筋・鉄骨構造
3	知念 邦	パラグアイ	1999年 4月～2000年 4月	臨床検査指導
4	幸地 憲夫	タ イ	2000年 4月～2002年 4月	水資源開発
5	小松 和子	メ キ シ コ	2000年10月～2002年10月	生態環境学

●—— 日系社会青年ボランティア

日系社会青年ボランティアは、中南米地域における日系人社会を対象に、日系人がその国づくりに大きく貢献していることを踏まえ、その一層の発展を支援するために、優秀な技術とボランティア精神を持つ日本の青年（20歳から39歳）を派遣する制度です。沖縄県からは、2001年3月までに13名のボランティアがアルゼンティン、ブラジル、ボリヴィアに派遣されています。平成12年度には2名のボランティアが派遣されました。

日系社会青年ボランティア応募状況（沖縄県出身者実績）

年度	説明会参加者数	応募者数	合格者数	合格者派遣国
昭和60年度	43	8	2	ブラジル(2名)
昭和61年度	73	15	1	アルゼンティン
昭和62年度	75	9	0	
昭和63年度	105	5	1	ブラジル
平成元年度	79	11	2	ボリヴィア アルゼンティン
平成2年度	111	11	1	ブラジル
平成3年度	183	7	0	
平成4年度	139	13	1	アルゼンティン
平成5年度	162	9	1	ブラジル
平成6年度	202	10	0	
平成7年度	194	10	0	
平成8年度	148	26	0	
平成9年度	344	22	2	ブラジル ボリヴィア
平成10年度	422	35	0	
平成11年度	173	27	0	
平成12年度	177	21	2	アルゼンティン ブラジル

日系社会青年ボランティア派遣実績

派遣年度	氏名	派遣国	所属先	職種	備考
昭和60年度	与那嶺 剛	ブラジル	コチア産業組合	農業 土木	
	知念 実栄	ブラジル	野村種苗トメアス農村振興会	蔬 菜	
昭和61年度	玉城 栄子	アルゼンティン	在亜沖縄県人連合会	団 体 事 務	
昭和63年度	新里 幸子	ブラジル	在伯沖縄県人会	団 体 事 務	
平成元年度	比 嘉 裕	ボリヴィア	コロニア沖縄農牧総合協同組合	畜 産 技 術	
	大 城 悟	アルゼンティン	在亜沖縄県人連合会	団 体 事 務	
平成2年度	仲 間 和男	ブラジル	南伯農業協同組合中央会	農業運営・経理	
平成4年度	与 座 宏章	アルゼンティン	在亜沖縄県人連合会	日本語兼団体事務	
平成5年度	仲宗根 米雄	ブラジル	南伯農業協同組合中央会	蔬 菜	
平成9年度	大城 みのり	ブラジル	サンタレン日伯協会	日 本 語 教 師	
	仲間 あずみ	ボリヴィア	サンファン日ボ協会	幼 稚 園 教 諭	
平成12年度	當 山 市代	アルゼンティン	在亜沖縄県人連合会	団 体 事 務	派遣中
	吉田 則也	ブラジル	在北伯群馬県人会	団 体 事 務	派遣中

●—— 日系社会シニア・ボランティア

日系社会シニア・ボランティアは、中南米地域の日系社会を対象に、日系人がその国づくり大きく貢献していることを踏まえ、その一層の発展を支援するために、優秀な技術とボランティア精神を持つ日本の中高年齢者（40歳から69歳）を派遣する制度です。沖縄県からは、2001年3月までに10名のボランティアがアルゼンティン、ブラジル、ボリヴィアに派遣されています。

日系社会シニアボランティア派遣実績

	氏名	派遣国	派遣期間	職種
1	松 田 国 昭	アルゼンチン	平成3年11月～平成5年11月	日本語
2	寺 山 テル子	ブラジル	平成4年7月～平成6年7月	〃
3	大 城 清 長	ボリヴィア	平成5年11月～平成7年11月	〃
4	親 川 政 輝	ボリヴィア	平成7年6月～平成9年6月	〃
5	伊 禮 友 子	ボリヴィア	平成7年8月～平成9年8月	保健婦
6	久 手 堅 憲 仁	ボリヴィア	平成8年6月～平成10年6月	日本語
7	兼 島 正	ボリヴィア	平成9年7月～平成11年7月	〃
8	池 間 玄 昭	ブラジル	平成9年7月～平成11年7月	農業
9	儀 間 淑 子	ブラジル	平成10年7月～平成12年7月	日本語
10	宮 城 都 志 子	ブラジル	平成11年1月～平成14年1月	栄養士

6

国際協力のための人材の養成

JICAでは、国際協力で活躍できる人材の養成・確保のために、以下の事業を実施しています。

- 技術協力専門家養成研修
- 地方自治体等の国際協力・交流事業の担当者を対象としたセミナー
- 国際協力に携わっている、または関心のある方を対象とした海外研修
- 国際協力に携わっている、またはその意志のある方を対象とした海外長期研修
- 技術協力専門家の一般公募

上記事業に関連して、沖縄国際センターでは、平成12年度に以下の事業を実施しました。

- 国際協力総合研修所主催の各種研修の募集、技術協力専門家の一般公募に関する説明会開催、募集、選考試験の実施

- 専門家定期語学試験の実施

- 国際協力人材研修

技術協力専門家、青年海外協力隊、研修指導者など、国際協力の仕事に携わる人材を養成するための公開講座です。国際協力への参加に関心のある沖縄県在住の方を対象に、国内での講義や海外での現場視察を行い、日本の政府開発援助について学んでいただきます。平成12年度の国際協力人材研修の概要は以下のとおりです。

期 日

国内研修：11月3日～11月5日

海外研修：11月15日～11月20日

参加者

国内研修：59名（内22名は公開講座のみ聴講）

海外研修：8名

研修内容

財団法人国際開発高等教育機関(FASID)に委託。国内研修のカリキュラムは以下のとおり。

「開発学の基礎と国際協力」 沖縄振興開発金融公庫 副理事長 嘉数 啓

「日本のODAとJICA事業の仕組み」 国際協力事業団 国際協力専門員 中野 武
「開発援助論概論」 福岡国際大学 国際コミュニケーション学部教授 佐藤 秀雄
「開発と環境配慮」 沖縄大学人文学部教授 桜井 国俊
「NGOの活動事例」 NGO沖縄 代表幹事 池間 哲郎
「プロジェクト・サイクル・マネジメント論」 FASID事業部長 小林正博

公開講座

「地方自治体の国際協力事業への参加について」

法政大学教授 鈴木 佑司、JICA企画・評価部 調査役 杉本 充邦

海外研修

5日間の日程でベトナムを訪問。「情報処理研修計画」、「電気通信訓練向上計画」、「上水道技術訓練プログラム」、「メコンデルタ酸性硫酸塩土壌造林開発計画」の視察を行った。

7

国内の他の国際協力団体との連携の促進

国際協力においては、対象となる開発途上国の住民が直接参画する社会開発や、地域住民が直接利益を得ることのできる、教育、保健、環境保全などの行政サービスの向上といったきめの細かい、現場に根差した活動が求められます。このような事業を効果的・効率的に進めるため、JICAは共通の目的を持った自治体、大学、NGO等の機関をパートナーと位置付け、以下の事業を通して連携の強化を推進しています。

● ソロモン諸島「プライマリーヘルスケア推進プロジェクト」

1991年9月から96年8月までの間、南太平洋のソロモン諸島国において沖縄県の関係当局の全面的支援により実施されたプロジェクトです。国際協力事業団が、1974年の設立以来実施してきている数多くのプロジェクトの中で、自治体の全面的な協力を得た全国初のプロジェクトです。

● メキシコ「家族計画・母子保健プロジェクト」

1992年4月から98年3月までの間、中米のメキシコ国にて実施されたプロジェクトで、沖縄県関係当局を始め、県立中部病院の協力を得て実施されました。

● メキシコ「女性の健康プロジェクト」

1999年から5年間の予定で実施しているプロジェクトです。沖縄県関係当局を始め、県立中部病院、(社)沖縄県看護協会の全面的な協力を得て、ベラクルス州における女性の健康の向上のために、母子保健活動や子宮頸がんの早期発見等の協力を実施しています。

● ボリヴィア「サンタクルス地方 公衆衛生向上計画」

1996年11月から1999年10月の間に、南米のボリヴィア国に個別専門家のチーム派遣事業により実施されたプロジェクトです。沖縄県と姉妹県(州)の関係にあるサンタクルス州の農村地帯において、沖縄県の関係当局の協力により、母子保健・感染症対策等の協力を実施しました。

● ラオス「セタティラート病院改善プロジェクト」

1999年10月から2004年9月の予定で、ラオス北部地域の中核的な医療機関であるセタティラート病院の医師、看護婦、薬剤師の知識・技能の向上や、病院の管理・サービスの向上のための支援を行っています。セタティラート病院は医科大学生の臨床教育や医師の卒業教育も行っており、同病院に対する技術移転がラオスにおける医療水準の底上げに貢献することが期待されています。

● 沖縄県との合同調査

JICAと沖縄県とが連携して行う国際協力事業の企画のため、沖縄県とJICAの職員が合同でアルゼンティンとボリビアを訪問し、現地調査を行いました。調査の結果を受けて、ボリビアにおける保健分野のプロジェクトとアルゼンティンに対する土木建築分野の技術移転が計画されています。

調査団名：南米プロジェクト形成調査（自治体連携協力）

派遣国名：アルゼンティン、ボリビア

派遣期間：2001年2月3日～2月15日（13日間）

協力機関：沖縄県文化環境部国際交流課

沖縄県総合精神保健福祉センター

沖縄県土木建築部下水道管理事務所

● 開発パートナー事業

平成11年度より、国際協力事業にたずさわる我が国のNGO、地方自治体、大学などとJICAとが、互いの経験とノウハウを活かしながら開発途上国の開発に寄与することを目指した「開発パートナー事業」が開始されました。この事業では、NGOなど国際協力にたずさわっている団体からプロジェクトの企画を募集し、採択された案件についてはJICA事業として実施しますが、応募した団体にプロジェクトの運営を委託します。応募形態については、JICAが指定する国について団体が自由にプロジェクト案を提出する公募型と、先方政府からの要請に対するプロジェクト案を団体が提案する公示型の2種類があります。

1. 資格要件

- (1) 本邦に主たる拠点を有する。
- (2) 国内外での国際協力活動歴を2年以上有する。
- (3) 直近2年間における各年の事業費の年間支出実績が1,500万円以上である。

2. 事業規模：団体の経験等を考慮して決定。

3. 事業期間：3年未満

● 小規模開発パートナー事業

平成12年度からは前出の「開発パートナー事業」に加え、小型版のパートナー事業として、「小規模開発パートナー事業」も開始しました。

本事業は、平成11年度から開始されている「開発パートナー事業」と同様に、多様化する途上国

の地域ニーズへの対応、途上国住民に対する草の根レベルのきめ細かな援助の実施を目的とし、国際協力のプロジェクトを、本邦のNGO、地方自治体、大学等の団体から募集するものです。

1. 資格要件

- (1) 本邦に主たる拠点を有する。
- (2) 団体としての活動歴2年以上の実績を有する。

2. 事業規模：100万円以上1,000万円未満

3. 事業期間：1年以内

事業が2予算年度にまたがる場合は、年度ごとに委託契約を締結し、精算する必要があります。

平成12年度小規模開発パートナー事業に係る選考の結果、全国からご応募いただいた79のうち、19件の採択が決定いたしました。沖縄からは以下の2件が採択されています。

平成12年度小規模開発パートナー事業採択案件（沖縄）

国	委託団体	プロジェクト
ラオス	沖縄アジア障害者を支援する会	ラオス障害者訓練センター設立計画
ボリヴィア	沖縄ボリビア協会	腸内寄生虫撲滅事業

● NGO-JICA合同ワークショップ

1. 目的

- (1) NGOの活動、組織の充実強化を図る。
- (2) 啓発、啓蒙から行動への展開
- (3) NGOとJICAのパートナーシップの強化を図る。

2. 実施時期：2001年3月3日～4日（3年連続3回目の実施）

3. 実施場所：国際協力事業団 沖縄国際センター

4. 主催：NGO-JICA合同ワークショップ・イン・沖縄 実行委員会
 （沖縄NGO活動推進協議会、国際協力事業団沖縄国際センター）

5. 参加者：

- (1) 沖縄NGO関係者
 - (2) 外務省関係者
 - (3) JICA関係者
 - (4) 沖縄県及び自治体関係者
 - (5) 沖縄県内の一般市民（公開シンポジウム）
- (1)～(4)で計128名、(5)は約200名が参加。

6. 主要スケジュール

3月3日（土）

講義「ODAとNGOの連携」 国際協力事業団国内事業部長 今津 武

講義「NGOとODA」

ザ・ネイチャー・コンサーバンシー日本プログラム部長ロリー・フォアマン

グループ討議「沖縄NGOの問題点の解消をめざして」

Aグループ：「組織運営とネットワーキング」その他

Bグループ：「財政基盤の強化法」その他

Cグループ：「人材の育成と確保」その他

Dグループ：「広報活動の強化」その他

3月4日（日）

ワークショップ総括と提言

基調講演：「21世紀のNGOの役割」 茨城大学人文学部教授 杉下恒夫

公開シンポジウム「21世紀に羽ばたく沖縄NGOの在り方を考える」

COFA（カンボジア・沖縄友好協会）保健センター所長 シム・サミット

SARPV（バングラデシュ障害者リハビリテーション協会）専務理事シャヒドウル・ハク

モンゴル児童人権センター所長 ノードブ・ボロンマー

タイ社会福祉局障害者リハビリテーション委員会事務所 ソーシャルワーカー ジャンチャイ・ヤエムユー

● 地方自治体国際協力ワークショップ

沖縄県国際交流課の後援のもと、3月8日に地方自治体国際協力ワークショップを開催しました。国際交流・協力を実施している地方自治体の実務者を中心に12団体から20名が参加し、情報の交換や親睦を図りました。

● 国際交流関連の団体・行事の後援

平成12年度に沖縄国際センターが参加・後援した団体と行事は以下のとおりです。

役員・委員就任

役 職 名	就 任 者	期 日
(社) 沖縄国際マングローブ協会理事	沖縄国際センター所長	1999年2月21日～
沖縄県高等学校国際教育研究協議会役員(顧問)	沖縄国際センター所長	1999年2月21日～
第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会委員	沖縄国際センター所長	2000年7月～
国立沖縄青年の家運営委員	沖縄国際センター所長	2000年9月1日～ 2001年3月31日
浦添市国際交流協会名誉顧問	沖縄国際センター所長	1999年4月～2001年3月31日
(財) 沖縄国際交流・人材育成財団理事	沖縄国際センター所長	2000年4月1日～
沖縄振興開発審議会専門委員	沖縄国際センター所長	1999年8月～
浦添市総合計画審議会委員	沖縄国際センター所長	2000年3月22日～ 2002年3月21日

行事の後援

行 事	期 日
2000年沖縄サミット開催記念G8・世界少年少女絵画特別企画展(巡回展)実行委員会主催G8・世界少年少女絵画特別企画展(巡回展)	2000年6月～
南米研修生ネットワーク支援コンサート実行委員会主催 南米研修生ネットワーク支援コンサート	2000年9月11日
沖縄キリスト教短期大学主催 第12回沖縄キリスト教短期大学高校生英語弁論大会	2000年12月9日
ヒップファミリークラブ沖縄主催 多言語活動講演会「7ヶ国語で話そう」	2001年2月2、3日
(財) 沖縄国際交流・人材育成財団主催 第18回外国人による弁論大会	2001年3月10日

8

民間緊急援助物資輸送業務

現在、世界の各地において地震、洪水等の大規模な災害が多数発生し、そのたびに多くの人命や財産が失われています。特に開発途上地域においては、災害の多発地域であるにもかかわらず、経済・社会基盤が不十分であるため、十分な救援活動が行われていないのが現状です。

被災国からの援助要請があり、日本政府が物資供与を実施しても、なお援助物資が必要とされるような大規模な災害が起こることもあります。こうした場合にJICAは、災害緊急援助の一環として、地方公共団体、民間団体、個人などから緊急援助物資をJICA負担で集荷し被災国まで輸送する業務を行います。

援助物資については、途上国での大規模な災害発生に対し、その都度支援する品目(例えば毛

布、タオル、石けん等)を特定し、マスコミなどを通して、国内に協力を呼びかけます。

平成10年度には、中国洪水災害に対する民間援助物資輸送の際に、県内の数多くの団体から約180枚もの新品毛布を提供していただきました。

9 大洋州 I T 推進セミナー

期間：2001年1月23日、24日

場所：沖縄国際センター（23日）、琉球大学（24日）

2000年4月に宮崎県で開催された「大平洋・島サミット」で森総理大臣（当時）が提唱した「大洋州 I T 推進プロジェクト」の一環です。国連開発計画（UNDP）と国際協力事業団（JICA）との共催で、外務省、沖縄県及び琉球大学の協力を得て実施されました。大洋州島嶼国の代表が沖縄に集まり、地理的な隔離や脆弱性といった島国が持つ制約を克服して開発を進めて行くためのITの推進について話し合いました。

セミナーには、クック諸島、ミクロネシア連邦、フィジー諸島共和国、キリバス共和国、ニウエ、パプアニューギニア、マーシャル諸島、サモア独立国、ソロモン諸島、トンガ王国、トゥバル、ヴァヌアツ共和国の12ヶ国の代表が参加しました。セミナーでは、沖縄国際センターで実施しているIT関連の技術研修や、情報通信産業の集積に向けた沖縄県の取り組み、沖縄県立中部病院が実施している遠隔医療支援、ITを活用した沖縄の産業開発の可能性などが紹介されたほか、ベルリンで開催中の「デジタル・ディバイド・サミット」とのテレビ会議も行われました。参加者は、IT推進による島嶼国の発展の可能性や、日本をはじめとする援助国・援助機関との協力の在り方について協議しました。



10 国際理解教育・開発教育支援

国民各層の国際協力事業への関心と理解を深めていただくために、JICAは様々な啓蒙活動を実施しています。沖縄国際センターでは、沖縄県教育委員会の協力のもと、県内の教育機関と連携して「世界と手をつなごうプログラム」を実施しているほか、平成12年度には中学生・高校生を対象としたエッセイコンテストや大学生を対象とした論文コンテスト、中学教師・高校教師の海外研修、高校生国際協力実体験プログラムを実施しました。

● 中学生エッセイコンテスト

募集：2000年6月～10月

表彰：平成12年12月

中学生を対象に、国際社会で日本が果たすべき役割や日本と開発途上国との関係等とテーマとしたエッセイを募集します。優秀作品に対しては、海外研修旅行などの賞が贈られます。平成12年度の全応募数は15,812点で、沖縄県からは466点の応募がありました。沖縄県からの受賞者は以下のとおりです。

賞	氏名	学校	作品
特選 (外務大臣奨励賞)	岡部 由佳里 (おかべ・ゆかり)	私立昭和薬科大学附属 中学校	鶴の絆
審査員特別賞	大城 明子 (おおしろ・あきこ)	名護市立大宮中学校	スペインからのお客様
沖縄国際センター 所長賞	比嘉 佳南子 (ひが・かなこ)	那覇市立真和志中学校	心と心で
沖縄国際センター 所長賞	登野盛 龍 (とのもり・りゅう)	竹富町立波照間中学校	わかりあう明日にする ために
沖縄国際センター 所長賞	上元 佳美 (うえもと・よしみ)	沖縄市立美里中学校	心がかけ橋
JOCA会長賞	下地 祐子 (しもし・ゆうこ)	城辺町立城辺中学校	私達にできること
学校賞	—	沖縄市立宮中学校	—

● 高校生エッセイコンテスト

募集：2000年1月～5月

表彰：2000年9月

高校生を対象に、国際社会で日本が果たすべき役割、日本と開発途上国との関係等とテーマとし

たエッセイを募集します。優秀作品に対しては、海外研修旅行などの賞が贈られます。平成12年度の全応募数は14,004点で、沖縄県からは439点の応募がありました。県内の受賞者は以下のとおりです。

賞	氏名	学校	作品
優秀賞	比嘉 梓 (ひが・あずさ)	沖縄県立向陽高等学校	小さな協力
入選	新垣 なつき (あらかき・なつき)	沖縄尚学高等学校	ある少女との出会いから
入選	高嶺 美和子 (たかみね・みわこ)	沖縄尚学高等学校	心の架け橋
入選	兼城 歩 (かねしろ・あゆむ)	昭和薬科大学附属高等学校	切手の重さ
沖縄国際センター所長賞	当山 美和 (とうやま・みわ)	沖縄尚学高等学校	小さな意識改革
日本国際協力センター 奨励賞	野原 麻紀 (のほら・まき)	沖縄県立首里高等学校	私と彼等の未来は、
日本国際協力センター 奨励賞	富山 陽子 (とみやまようこ)	昭和薬科大学附属高等学校	私たちに足りないこと
高国協会長賞	古謝 玄太 (こじゃ・げんた)	昭和薬科大学附属高等学校	身近な国際協力
学校賞	—	昭和薬科大学附属高等学校	—

● 国際協力大学生論文コンテスト

募集：2000年9月15日～2001年1月10日

表彰式：2001年4月

大学生を対象に、開発途上国の抱える課題克服に向けた国際協力の取り組みについて論文を募集します。分野は、「開発援助」「環境」「貧困」「教育」「人口」「WID（開発と女性）」「農林水産業」「保健・医療」「工業開発」「参加型開発」です。優秀作品に対しては、海外旅行などの賞が送られます。(平成12年度には沖縄県からの応募はありませんでした。)

● 中学校教師海外研修

募集：2000年7月26日～8月7日

派遣：2000年8月上旬

中学校教師に開発途上国の現状や文化・習慣を視察する機会を提供し、国際理解教育・開発教育に役立てていただくための事業です。沖縄県からは西城中学校の平良広幸教諭が中国を訪問し、国際協力の現場を視察しました。

● 高校教師海外研修

2000年7月24日～8月4日

高校教師に開発途上国の現状や文化・習慣を視察する機会を提供し、国際理解教育・開発教育に役立てていただくための事業です。沖縄県からは沖縄尚学高校の与座宏章教諭が参加し、タイにおける国際協力の現場を視察しました。研修の結果は高校生国際協力実体験プログラム（下記参照）でも紹介されました。

● 高校生国際協力実体験プログラム

2000年8月28日～8月30日

県内の離島を含む15校から36名の高校生が沖縄国際センターを訪問し、研修員やJICA関係者、NGOとの交流を行い、国際協力について学びました。

● 世界と手をつなごうプログラム

2000年4月～2001年3月

教育機関を対象に、以下の活動を行っています。

- ・ JICAの職員や帰国専門家、青年海外協力隊OB・OGによる講話
- ・ 研修員との交流
- ・ OICの施設見学
- ・ 広報資料の貸出し

平成12年度の実績は以下の通りです。

(1) 研修員との交流

33件 受講者数 2987名

	実施日時	実施場所・対象者	対象者人数	研修コースおよび人数	内 容
1	平成12年6月22日(木) 9:00～13:00	北谷町立浜川小学校 1～4年生	408名	研修員13名 視聴覚メディア制作 コース	研修員による出身国紹介および 交流 1. 研修員による出身国紹介 2. 質疑応答 3. ゲームを通じた交流
2	平成12年7月10日(月) 19:00～21:00	沖縄県立鏡が丘養護学 校 高校生	20名	研修員4名 希望者を募った任意参 加	研修員による出身国紹介 1. ジャマイカ 2. パラグアイ 3. フィリピン 4. パキスタン
3	平成12年7月13日(木) 10:00～12:00	沖縄県立浦添商業高等 学校 国際観光科生徒	81名	研修員12名 コンピュータ・システ ムアナリストAコース	研修員による出身国紹介および 交流 1. 研修員による出身国紹介 2. 質疑応答 3. 生徒による沖縄文化紹介

	実施日時	実施場所・対象者	対象者人数	研修コースおよび人数	内 容
4	平成12年7月15日(土) 10:00~12:00	沖縄県立那覇西高等学校 国際人文科生徒	81名	研修員17名 希望者を募った任意参加	研修員へのインタビュー 1. 研修員による出身国紹介 2. グループディスカッション 開発途上国における日本の国際協力
5	平成12年8月4日(金) 13:00~16:00	与那原町立与那原中学校 生徒	23名	研修員12名 コンピュータ・PC サーバAコース	研修員による出身国紹介および 交流 1. 研修員による出身国紹介 2. 質疑応答 3. 生徒による沖縄文化紹介
6	平成12年9月5日(火) 14:00~16:00	沖縄県立那覇商業高等学校 国際経済科	85名	研修員11名 コンピュータ・ネット ワーク技術者Aコース	研修員による出身国紹介および 交流 1. 研修員による出身国紹介 2. 学校紹介 3. 生徒による沖縄文化紹介 4. 質疑応答
7	平成12年9月19日(火) 11:00~13:00	沖縄県立宜野湾高等学校 2年生	33名	研修員3名 コンピュータ・オンラ インデータベース設計 者コース	研修員による出身国紹介および 交流 1. 研修員による出身国紹介 2. 料理交流「ラオス料理」 研修員の出身国の家庭料理 を生徒とともに調理、交流を図る
8	平成12年9月19日(火) 14:00~15:30	沖縄県立美里小学校 6年生	183名	研修員12名 コンピュータ・オンラ インデータベース設計 者コース	研修員による出身国紹介および 交流 1. 沖縄国際センター活動紹介 2. 研修員による出身国紹介 3. 質疑応答 4. レクリエーション交流
9	平成12年9月27日(木) 17:30~19:30	沖縄県立豊見城南高等 学校 3年生	8名	研修員3名 技術協力のための日本 語コース	タイ国研修員へのインタビュー
10	平成12年9月28日(木) 10:00~12:00	沖縄県立中部商業高等 学校 国際流通科	117名	研修員12名 コンピュータ・UNI Xサーバ設計者Aコー ス	研修員による出身国紹介および 交流 1. 研修員による出身国紹介 2. 生徒による学校紹介 3. 質疑応答 4. 生徒による沖縄文化紹介
11	平成12年9月28日(木) 17:30~19:30	沖縄県立読谷高等学校 1年生および教員	4名	研修員および国内協力 員 ビデオ制作コース	コートジボアール国研修員への インタビュー
12	平成12年10月18日(木) 10:30~13:00	沖縄私立美東小学校 5年生	158名	研修員11名 コンピュータ・情報処 理部門管理者コース	研修員による出身国紹介および 交流 1. 沖縄国際センター活動紹介 2. 研修員による出身国紹介 3. 質疑応答 4. レクリエーション交流 5. 給食交流
13	平成12年11月1日(木) 14:00~15:30	西原町立西原南小学校 6年生	71名	研修員13名 PCアプリケーション 設計者コース	1. 研修員による出身国紹介 2. 児童による沖縄文化発表会 3. 児童と研修員の自由交流

	実施日時	実施場所・対象者	対象者 人数	研修コースおよび人数	内 容
14	平成12年11月8日(木) 10:55~13:00	今帰仁村立天底(あめ そこ)小学校 6年生	80名	研修員6名 亜熱帯地域作物栽培 (野菜)コース	1. 研修員による出身国紹介 ・コートジボアール ・赤道ギニア ・ホンデュラス ・インドネシア ・パキスタン
15	平成12年11月15日(木) 10:30~15:00	北谷町立北谷小学校 3年生	120名	研修員10名 ビデオ制作コース	1. 授業見学 2. 研修員による出身国紹介 (10カ国) 3. レクリエーション交流 4. 給食交流 5. グループ交流(事前に調べた研修 員の出身国に関する質疑応答)
16	平成12年11月23日(木) 10:00~13:00	沖縄国際センター 那覇市立石嶺公民館・ 家庭教育学級受講生等	62名	研修員21名 希望者を募った任意参 加	「グランドゴルフ」と「もちつ き」を通じた交流。
17	平成12年12月5日(火) 13:30~15:30	沖縄尚学高等学校 地域国際交流研究クラ ブ部員	25名	研修員7名 技術協力のための日本 語コース(中上級)	1. 研修員による出身国紹介 ・ラオス ・モンゴル ・タイ ・カーボヴェルデ ・中国
18	平成12年12月14日(木) 14:00~16:00	沖縄県立知念高等学校 異文化理解コース生徒	43名	研修員9名 技術協力のための日本 語コース	1. 研修員による出身国紹介 (中国/パラグアイ/ラオス/タイ/バン グラデシュ/ブラジル/ギニア/インドネ シア/スリランカ) 2. 研修員による館内案内 3. フリーディスカッション
19	平成12年12月16日(土) 10:25~11:00	南風原町立津嘉山小学 校 6年生	107名	研修員2名 UNIXサービシステ ム設計者コース	「外国人からみた沖縄の良さ」 について研修員に話してもら う。
20	平成12年12月16日(土) 9:00~11:15	石川市立石川中学校 2年生	8名	研修員4名 臨床看護コース	「国際紛争」をテーマにしたイ ンタビュー学習会。
21	平成12年12月23日(土) 9:00~12:00	沖縄国際センター 宜野湾市立真志喜中学 校生徒	43名	研修員6名 希望者を募った任意参 加	バレーボールを通じたスポーツ 交流。 1. 研修員による自己紹介 2. バレーボール交流 3. 懇談会
22	平成13年1月20日(土) 9:40~11:40	沖縄県立森川養護学校 高等部生徒	12名	研修員8名 希望者を募った任意参 加	1. 研修員による自己紹介 2. 児童による沖縄の文化紹介 3. 郷土芸能「エイサー」を通 じての交流
23	平成13年1月23日(火) 14:00~16:00	西原町立西原小学校生 徒	129名	研修員10名 情報処理技術インスト ラクターコース	1. 児童らによる歓迎のあいさつ 2. 研修員による自己紹介 3. グループ交流(研修員の出身 国についての事前学習した際の 質問に答えてもらい、研修員には 母国のことを紹介してもらう)

	実施日時	実施場所・対象者	対象者人数	研修コースおよび人数	内 容
24	平成13年2月9日(金) 10:00~12:30	沖縄市立安慶田小学校 6年生	108名	研修員14名 システムアナリスト (B)コース	1. 研修員による自己紹介 2. 学校紹介 3. 生徒によるテーマ別沖縄の紹介 4. 舞台での郷土芸能発表 5. 生徒と研修員によるエイサー
25	平成13年2月15日(木) 10:30~12:15	北谷町立北谷第二小学校 3年生	100名	研修員12名 マルチメディア教材制作コース	1. 生徒による学級代表あいさつ 2. 研修員による自己紹介および母国紹介 3. 生徒による演技
26	平成13年2月16日(金) 11:20~16:00	座間味村立座間味中学校 (座間味島) 全校生徒	23名	研修員12名 コンピュータ・ネット ワーク技術者Bコース	~交流学習会PART1~ O I C事業紹介、研修員自己紹介、生徒による学校紹介 ~交流学習会PART2~ 生徒による研修員へのインタビュー、感想、お礼の言葉
27	平成13年3月2日(金) 10:30~11:35	沖縄県立鏡が丘養護学校 小学部全児童	39名	研修員12名 コンピュータ・UNIX システムサーバ設計者B	1. はじめのことば(生徒) 2. みんなで歌おう(ひなまつり) 3. 研修員による自己紹介 4. 英語でビンゴ 5. 歌のプレゼント(コンドルは飛んでいく) 6. 終わりのことば(生徒代表)
28	平成13年3月2日(金) 14:00~15:30	浦添市立牧港小学校 6学年生	121名	研修員12名 コンピュータ・UNIX システムサーバ設計者B	研修員による自己紹介 2. 沖縄の芸能紹介(児童生徒) 3. グループ交流 ・研修員の母国紹介 ・質疑応答 ・ゲーム(ふくわらい)
29	平成13年3月3日(土) 9:30~11:30	与那原町コミュニティ センター 与那原町立与那原小学校 6学年生	102名	研修員4名 希望者を募った任意参加	研修員による母国紹介 1. 地理的な位置 2. 暮らしの様子・文化(衣食住・遊び・学校) 3. 産業 4. 日本との関わり
30	平成13年3月3日(土) 10:45~12:25	糸満市立光洋小学校 4年生	100名	研修員3名 希望者を募った任意参加	1. 歓迎のあいさつ(児童生徒) 2. 児童生徒による歌や空手演舞の披露 3. 研修員による母国紹介(各教室)
31	平成13年3月7日(水) 10:25~11:55	那覇市立泊小学校 6年生	146名	研修員12名 コンピュータ・PC サーバシステム設計者 B	1. 学年歓迎会(於・体育館) ~4校時~ 2. 研修員との文化交流(各クラス)
32	平成13年3月7日(水) 15:00~16:00	浦添市立仲西小学校 4年生	132名	研修員12名 コンピュータ・PC サーバシステム設計者 B	1. 歓迎のことば 2. 研修員による自己紹介 3. 研修員への質問コーナー 4. グループ交流 5. 生徒による出し物(琉球舞踊、空手ほか) 6. プレゼント贈呈
33	平成13年3月17日(土) 10:45~12:25	糸満市立光洋小学校 1~2年生	215名	研修員6名 希望者を募った任意参加	1. 歓迎のことば 2. 校長先生あいさつ 3. 歌 4. 研修員による自己紹介 5. 先生方の自己紹介 6. 出し物(三線、空手、歌など)

総件数 33件 受講者総数 2987人

(2) 青年海外協力隊OB/OG等による講演

17件 受講者数 2573名

	実施日時	実施場所・対象者	対象者 人数	講師・所属先	内 容
1	平成12年5月2日(火) 19:00~20:00	浦添市民会館 浦添市国際交流協会会 員	100名	渡真利 道 (ジンバブ エ/音楽) 沖縄県青年海外協力協 会	音楽を通じた国際協力 1. 青年海外協力隊活動 2. ジンバブエでの音楽教育に ついて
2	平成12年7月1日(土) 10:20~11:20	具志川村立具志川中学 校(久米島) 全校生徒	210名	赤嶺 信夫 (ネパール /果樹栽培)、ネパー ル国研修員1名 沖縄県青年海外協力協 会、沖縄国際センター	ネパール国の現状と青年海外協 力隊活動 1. ネパール国紹介 2. 青年海外協力隊活動につい て
3	平成12年7月5日(木) 12:50~14:20	琉球大学学生	30名	田場 早苗 (ヴィエト ナム/日本語教育) 沖縄国際センター 業 務課 国内協力員	ヴィエトナム国の現状と日本語 教育について 1. 青年海外協力隊活動につい て 2. ヴィエトナム国の現状 3. ハノイ貿易大学における日 本語教育活動
4	平成12年7月12日(木) 15:00~16:00	那覇市立城西小学校 国際理解クラブ児童	28名	渡真利 道 (ジンバブ エ/音楽) 沖縄県青年海外協力協 会	音楽を通じた国際協力 ジンバブエ国での青年海外協力 隊活動について
5	平成12年7月14日(金) 15:15~16:15	読谷村立古堅中学校 全校生徒	840名	高江洲 みどり (コー トジボワール/音楽) 沖縄県青年海外協力協 会	コートジボワール国での青年海 外協力隊活動について
6	平成12年7月17日(月) 14:20~15:10	石垣市立富野小中学校 (石垣島) 全校生徒	20名	田場 早苗 (ヴィエト ナム/日本語教育) 国内協力員	私が見たヴィエトナム 日本語教師としての青年海外協 力隊活動
7	平成12年8月2日(木) 15:00~16:00	沖縄県立玉城少年自然 の家 那覇市立金城中学校生 徒	109名	宮里 貴史 (チリ/野 菜栽培) 沖縄県青年海外協力協 会	青年海外協力隊活動紹介 チリ国での協力隊活動について
8	平成12年8月31日(木) 18:00~20:00	石垣市立白保中学校 (石垣島) 2年生	41名	箕田 俊晴 (タイ/家 畜飼育) 箕田 律子 (〃/日本 語教育) 沖縄県青年海外協力協 会	青年海外協力隊活動紹介 タイ国での協力隊活動について
9	平成12年9月20日(木) 13:05~14:35	沖縄県立向陽高等学校 全校生徒	766名	仲本 和美 (フィリピン /臨床検査) 沖縄県青年海外協力協 会	青年海外協力隊活動紹介 講演「青年海外協力隊活動を通 して～異文化との出会い、理 解、行動～」 フィリピン、タンザニアでの医 療協力

	実施日時	実施場所・対象者	対象者 人数	講師・所属先	内 容
10	平成12年10月27日(金) 14:00~16:00	石垣市立白保中学校 (石垣島) 2年生	5名	箕田 律子 (タイ/日 本語教育) 沖縄県青年海外協力協 会	進路学習講演「協力隊活動とタイ 国での日本語教育」 1. 青年海外協力隊活動 2. タイ国での生活と日本語教 育
11	平成12年11月1日(水) 9:05~9:55	沖縄県立那覇西高等学 校 1年生	120名	冨底 利一、島袋 克、兼本 政治 沖縄県青年海外協力協 会	創立記念講演会 1. 青年海外協力隊活動体験談 2. 質疑応答
12	平成12年11月15日(水) 9:20~10:40	沖縄県立鏡が丘養護学 校 高等部全生徒	20名	渡真利 道 (ジンバブ エ/音楽) 沖縄県青年海外協力協 会	青年海外協力隊活動体験談 1. ジンバブエでの音楽を通し た協力隊活動 2. 異文化理解について 3. 生徒によるインタビュー 国際協 力パネル展も同校にて併せて実施
13	平成12年11月28日(火) 10:30~11:30	平良市立平良第一小学 校 (宮古島) 4年生	32名	赤嶺 信夫 (ネパール /果樹栽培) 沖縄県青年海外協力協 会	青年海外協力隊活動体験談 1. ネパールの人々の生活の様 子 2. ボランティア活動 3. ネパールの人達との交流
14	平成12年12月13日(水) 11:45~12:25	沖縄県立善天間高等学 校 1年生	160名	神里 敦夫 (バングラ デシュ/野菜栽培) 沖縄県青年海外協力協 会	進路講演 1. 協力隊活動に参加した経緯 2. バングラデシュの人々の生 活 3. ボランティア活動 4. 質疑応答
15	平成13年2月9日(金) 13:00~17:00	国立沖縄青年の家 (渡 嘉敷島) 青年ボランティア活動 セミナー参加者 (学 生、社会人)	50名	平良 和佳子 (エクア ドル/陶磁器) 沖縄県青年海外協力協 会	開発途上国でのボランティア活 動 エクアドル国での異文化体験と 協力隊活動
16	平成13年3月17日(土) 11:30~14:00	沖縄ハーバービューホ テル 沖縄ゾントクラブ会員	25名	知念 邦 (シニア海外 ボランティア) パラグアイ/臨床検査 アドバイザー	パラグアイ国でのボランティア 活動 臨床検査アドバイザーとしてボ ランティア活動に携わった経験 や、任国での生活や異文化体験 についての講演。
17	平成13年3月21日(水) 14:10~15:00	石垣市立崎枝小学校 (石垣島) 全校生徒	17名	箕田 律子 (タイ/日 本語教育) 沖縄県青年海外協力協 会	協力隊に参加した動機や思い、 現地の方々の生活の様子、交流 する中で感じたこと、考えたこ と、子供達に伝えたい国際交流 の視点などについて講演。

総件数 17件 受講者総数 2573人

(3) JICA職員による講演

22件 受講者数 2196名

	実施日時	実施場所・対象者	対象者 人数	講師・所属先	内 容	備 考
1	平成12年5月25日(木) 14:40~16:00	沖縄県自治研修所 沖縄県職員(係長相 当職)	33名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	国際化への対応 1. 私達を取り巻く世界 の状況 2. 国際協力事業の理念 と活動	
2	平成12年6月1日(木) 14:40~16:00	沖縄県自治研修所 沖縄県職員(係長相 当職)	31名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	国際化への対応 1. 私達を取り巻く世界 の状況 2. 国際協力事業の理念 と活動	
3	平成12年6月19日(月) 13:00~14:30	沖縄開発庁沖縄総合 事務局 国家公務員(中堅職 員)	15名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	国際化への対応 1. 私達を取り巻く世界 の状況 2. 国際協力事業の理念 と活動	
4	平成12年4月26日(木) 16:30~17:30	沖縄ハーバービュー ホテル 同協会会員	40名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	21世紀の建築家に求めら れるもの	
5	平成12年7月5日(木) 14:10~16:40	浦添市立浦添中学校 2年生	280名	金城 誠一 沖縄国際センター 業務課長	1. 日本の国際協力 2. 国際協力事業団およ び沖縄国際センター の役割 3. 職員の業務	
6	平成12年9月11日(月) 13:00~15:00	沖縄県自治研修所 沖縄県内市町村職員	42名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	国際化に向けて	
7	平成12年8月23日(木) 9:45~10:45	具志川市民芸術劇場 「響ホール」 平成12年度新規採用 教員	416名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	国際理解教育への取り組 み	
8	平成12年10月17日(火) 15:00~17:00	税務大学校沖縄研修 支所 沖縄国税事務所 税 務職員	23名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	平成12年度税務大学校地 方研修「中級実務」 講演「海外援助(国際協 力)はなぜ必要か」	
9	平成12年10月27日(金) 12:50~14:20	琉球大学 保健学研究所	100名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	「国際保健医療学特論」 特別講義	

	実施日時	実施場所・対象者	対象者 人数	講師・所属先	内 容	備 考
10	平成12年11月17日(金) 12:50~14:20	琉球大学 琉球大学保健学研究 科	100名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	「国際保健医療学特論」 特別講義	
11	平成12年11月9日(木) 11:15~12:45	豊見城村中央公民館 島尻地区小中学校長	75名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	第41回沖縄県小中学校長研究 大会島尻大会 講演「21世紀を拓く学校教育 の展望」 1. 国際性に富んだ人材の育 成 2. 地域性を活かした国際交 流 3. 情報化・国際化への対応	
12	平成12年11月15日(水) 9:00~10:20	沖縄県自治研修所 沖縄県庁職員	40名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	国際協力について	
13	平成12年11月17日(金) 9:00~11:00	那覇市教育委員会 那覇市内小・中学校 教頭	53名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	国際理解について	
14	平成12年11月7日(火) 14:40~	沖縄県立開邦高等学 校 生徒	70名	小林 秀一 沖縄国際センター 総務課	JICAについて 国際貢献とは	
15	平成12年12月21日(木) 14:30~15:30	平安病院 平安病院の医師、看 護士、事務職員	50名	川添 浩正 沖縄国際センター 次長	「国際協力の現状～医療 分野について～」 ビデオ上映	「地球の明日を 見つめて～エジ プトの医療協力 プロジェクト紹 介～」 「世界に広がる いちゃりば ちよーでー沖縄 国際センター 事業紹介～」
16	平成12年12月20日(木) 15:00~16:00	浦添市立神森中学校 1年生	300名	金城 誠一 沖縄国際センター 業務課長	「職業人の話を聞く」 JICA職員の仕事につ いて 海外での勤務経験	
17	平成12年12月22日(金) 14:00~15:00	平良市立池間小中学 校(宮古島) 全校生徒	50名	池城 直、照屋 江 美 八王子センター研修 課長/沖縄国際セン ター総務課	「エイズって何？」—国 際協力とエイズ—	
18	平成13年2月9日(金) 13:30~17:00	与那国町立与那国中 学校体育館 小中学校教員及び父 兄	80名	上原 盛毅 企画・評価部(専門 技術嘱託)	「これからの教育に期待 する～21世紀の社会が求 める人材について～」	

	実施日時	実施場所・対象者	対象者 人数	講師・所属先	内 容	備 考
19	平成13年1月30日(火) 10:25~12:00	沖縄県立教育センター 教職員	46名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	平成12年度長期研修講座 「国際理解教育」での講 演	
20	平成13年2月23日(金) 15:00~16:00	宮古教育事務所(宮 古島) 平良市内小・中学校 長	22名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	平良市校長会研修会 講演「国際舞台で生きる 人間模様」	
21	平成13年3月7日(木) 12:30~13:30	沖縄ハーバービュー ホテル 那覇ロータリークラ ブ会員	80名	佐々木 豊 沖縄国際センター 所長	那覇ロータリークラブ定 例会 講演「沖縄国際センター 事業と国際協力」	
22	平成13年3月13日(火) 19:00~19:30	マレーシア・クアラ ルンプール市内 沖縄県立向陽高等学 校生徒(修学旅行参 加者)	250名	金城 睦子 マレーシア事務所調 整員	マレーシアにおける日本 の国際協力およびJICA 事業紹介	

総件数 22件 受講者総数 2196人

(4) 施設見学

22件 訪問者数 723名

	実施日時	対象者	対象者数	講師・所属先	内容	備考
1	平成12年5月26日(金) 14:30~16:00	沖縄県立読谷高等学校	20名	研修員4名 熱帯農林資源の有効 利用コース	日本語研修の一環としての 出身国紹介 ・エチオピア ・ラオス ・フィリピン ・パプアニューギニア	
2	平成12年6月1日(木) 9:45~11:45	沖縄県立森川養護学 校小学部	10名	有賀 秀夫次長	・開発途上国の現状 ・日本の国際協力と沖縄 国際センターについて ・ビデオ上映 ・施設見学	
3	平成12年6月13日(火) 19:30~22:00	沖縄県広域学習サー ビス事業	30名	有賀 秀夫次長	・開発途上国の現状 ・日本のODAとJICA A事業 ・沖縄国際センターの役 割 ・質疑応答	沖縄県教育委 員会が生涯学 習の一環とし て実施してい る広域学習サ ービス事業の 「国際理解 講座」の1コマ を当センターで 行なった。受講 者のほとんど が県内南部地 域の社会人お よび大学生で あった。
4	平成12年6月28日(木) 10:00~12:00	浦添市立浦添小学校	120名	有賀 秀夫次長	・世界の国々の現状 ・沖縄国際センターの役 割 ・施設見学	
5	平成12年7月4日(火) 17:30~19:00	琉球大学法文学部国 際言語文化学科	4名	研修員2名 植物検疫コース	南米の現状を研修員にイ ンタビュー	
6	平成12年7月12日(木) 15:00~17:30	沖縄県立名護高等学 校	20名	照屋 江美 総務課	・JICAおよび沖縄国 際センター事業紹介 ・ビデオ上映 ・施設見学	
7	平成12年7月17日(月) 13:30~17:00	沖縄県立向陽高等学 校	5名	有賀 秀夫次長	・日本のODAとJICA Aの役割 ・開発途上国の現状 ・沖縄国際センター事業 ・ビデオ上映 ・施設見学	
8	平成12年7月28日(金) 10:00~12:00	浦添市立浦添中学校	10名	金城 誠一 業務課長	・JICAおよび沖縄国 際センター事業概要 ・ビデオ上映 ・施設見学 ・研修員との交流	

	実施日時	対象者	対象者 人数	講師・所属先	内 容	備 考
9	平成12年10月20日(金) 15:00~16:00	沖縄市立宮里中学校	3名	高江洲 みどり 業務課	・ボランティア相談コーナーに案内し、青年海外協力隊の概要、職業の数・種類、沖縄県からの青年海外協力隊の職種、協力隊OB/OGのその後の進路概況、現在の活動状況についてわかりやすく説明した。	・後日、同生徒及び同中学校よりお礼状送付有
10	平成12年10月25日(水) 13:40~15:00	沖縄県立小禄高等学校	43名	川添 浩正次長	・ビデオ上映 ・沖縄国際センター事業紹介 ・施設見学	・1/27からのシンガポール研修に向けての事前学習 ・語学研修、海外理解に役立てるため ・教職員3名含む
11	平成12年10月25日(水) 15:30~16:30	浦添市立仲西小学校	16名	照屋 江美 総務課	・ビデオ上映 ・沖縄国際センター事業紹介 ・質疑応答 ・施設見学	国際クラブの児童 ・教師1名・保護者1名含む
12	平成12年11月16日(木) 11:00~13:30	中国・四国・九州地区国立大学職員	150名	佐々木 豊所長	国際協力事業の理念と活動	
13	平成12年11月17日(金) 14:30~16:00	北中城村立北中城中学校	24名	照屋/高江洲 総務課/業務課	・ビデオ上映 ・沖縄国際センター事業概要 ・青年海外協力隊活動体験談 「コートジボワール国での音楽活動」 ・施設見学(日本語コース研修見学)	・総合学習「進路」学習のため ・引率者教師2名含む
14	平成12年11月27日(月) 14:00~15:30	南風原町立南星中学校	20名	川添 浩正次長	・ビデオ上映8「ODAってなんだろう」 ・沖縄国際センター事業概要 ・施設見学(日本語コース見学)	南星中学校PTA学力向上対策委員会が計画
15	平成12年12月5日(火) 15:30~17:30	伊是名村立伊是名中学校	32名	川添 浩正次長	・ビデオ上映 ・沖縄国際センター事業概要 ・施設見学 ・青年海外協力隊紹介と質疑応答 ・研修員との交流	・離島の中学校 ・教師4名含む
16	平成12年12月13日(木) 10:00~11:30	島尻地区小中学校校長会	60名	金城 誠一 業務課長	・ビデオ上映 ・事業紹介 ・施設見学	・島尻地区小学校/中学校の校長先生

	実施日時	対象者	対象者 人数	講師・所属先	内 容	備 考
17	平成12年12月22日(金) 10:30~11:30	島尻教育研究所	7名	川添 浩正次長	<ul style="list-style-type: none"> ・ODAとJICAの役割 ・沖縄国際センター事業概要 ・開発教育支援事業 ・ビデオ上映 	<ul style="list-style-type: none"> ・所員1名、小学校研究員5名、中学校研究員1名 ・沖縄県内の特色ある教育施設、郷土の文化、歴史、地理、産業等の視察研修を行ない、見聞を広め、資質向上を図ることを目的とした訪問
18	平成13年1月25日(木) 曜日 15:00~20:30	沖縄県立南風原高等学校	80名	川添 浩正次長	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ上映 ・事業紹介 ・施設見学(研修員による案内) ・文化交流(来訪者側によるエイサー披露) 	<ul style="list-style-type: none"> ・同高校PTA主催による国際交流事業
19	平成13年2月16日(金) 17:00~18:00	那覇市立大名児童館	14名	比嘉 勇也 総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄国際センター事業紹介 ・ビデオ上映 ・施設見学 ・研修員との交流 	児童館ボランティアクラブの中学生が、クラブ活動の一環として訪問
20	平成13年2月20日(火) 13:30~14:30	浦添市てだこ学園大学(生涯学習)	37名	佐々木 豊所長	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協力事業差団および沖縄国際センター事業紹介 ・ビデオ上映 ・施設見学 	高齢者を対象にした生涯学習機関
21	平成13年3月7日(木) 13:30~16:00	那覇市立石嶺小学校	15名	川添 浩正次長	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄国際センター事業紹介 ・ビデオ上映 ・質疑応答 ・施設見学 ・日本語コース研修員との交流 	
22	平成13年3月26日(月) 14:00~16:00	東京学芸大学教育学部	3名	川添 浩正次長	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄国際センター事業紹介 ・開発教育支援事業の現状と今後の計画 ・地域との連携事業 	

総件数 22件 訪問者総数 723人

平成12年度施設見学者・来訪者実績

No	月 日	所 属	来 館 者	人数
1	4月3日	外務省	審議官他	3
2	4月5日	第十一管区海上保安本部	職 員	4
3	4月6日	沖縄県文化環境部文化国際局国際交流課	課長他	3
4	4月7日	沖縄キリスト教短期大学	学 生	3
5	4月11日	国立沖縄青年の家	職 員	2
6	4月12日	(社) 浦添青年会議所	会 員	2
7	4月13日	沖縄大学	教 授	1
8	4月14日	沖縄タイムス社	記 者	2
9	4月16日	国際協力事業団職員採用説明会	一 般	77
10	4月17日	沖縄県国際交流・人材育成財団	職 員	8
11	4月18日	浦添市前田自治会	会長他	2
12	4月20日	那覇市立首里中学校	教 諭	2
13	"	沖縄県文化環境部文化国際局国際交流課	職 員	2
14	"	沖縄県立看護大学	職 員	2
15	4月21日	N H K 沖縄放送局	記 者	2
16	"	沖縄県立玉城少年自然の家	生涯学習指導員	3
17	"	昭和薬科大学附属高等学校	教 諭	1
18	4月24日	浦添市企画部国際交流課	職 員	2
19	"	沖縄国際大学	学 生	2
20	"	外務省経済協力局	局長他	3
21	4月25日	技術協力専門家一般公募説明会	一 般	11
22	"	(社) 那覇青年会議所	会 員	3
23	4月26日	沖縄県立森川養護学校	教 諭	2
24	"	琉球大学	学 生	2
25	4月27日	農林水産省那覇植物防疫事務所	職 員	5
26	"	業務体験セミナー(JICA職員採用関連)	一 般	60
27	4月28日	N H K 沖縄放送局	記 者	2
28	5月2日	国際協力出版会	職 員	1
29	5月9日	沖縄県文化環境部文化国際局国際交流課	職 員	2
30	5月10日	豊見城村	知念氏	2
31	5月11日	浦添市立牧港小学校	教 諭	2
32	"	沖縄県立那覇西高等学校	教 諭	1
33	"	那覇市平和と市民交流室	職 員	2
34	"	沖縄県立鏡が丘養護学校	教 諭	1
35	5月12日	琉球大学	学 生	2
36	"	沖縄県立浦添商業高等学校	教 諭	1
37	5月13日	琉球ブクブク茶道あけしの会	会 員	15
38	"	N H K 沖縄放送局	記者他	5
39	"	琉球朝日放送株式会社	記 者	3
40	5月14日	青年海外協力隊募集説明会	一 般	63
41	"	シニア海外ボランティア募集説明会	一 般	33
42	5月16日	沖縄県国際交流・人材育成財団	職 員	2
43	5月17日	沖縄市立教育研究所	教 員	10
44	"	那覇市	ODA民間モニター他	3
45	5月18日	琉球大学	教授及び学生	3
46	5月20日	国際ソロプチミスト沖縄	会 員	85
47	5月22日	与那原町	松瀬氏	1
48	5月23日	沖縄県議会	県議会議員	1

No	月日	所 属	来 館 者	人数
49	5月23日	沖縄県文化環境部文化国際局国際交流課	職 員	2
50	5月25日	琉球大学	学 生	2
51	5月26日	沖縄県立読谷高等学校	教諭および生徒	20
52	5月31日	沖縄市立美原小学校	教 諭	5
53	"	北中城村教育委員会	職 員	2
54	"	(社) 全国珠算教育連盟沖縄県支部	支部会員及び児童	80
55	"	琉球大学	学 生	4
56	6月1日	浦添市立宮城小学校	教 諭	3
57	"	琉球大学	学 生	2
58	"	沖縄県立首里東高等学校	教 諭	1
59	"	沖縄県立森川養護学校小学部	教諭および生徒	3
60	6月2日	沖縄キリスト教短期大学	学 生	2
61	6月3日	沖縄県青年海外協力協会総会	会 員	33
62	6月5日	農林水産省那覇植物防疫事務所	職 員	3
63	6月6日	沖縄市立美東小学校	教 員	5
64	"	(財) 海外日系人協会	理事長他	2
65	"	沖縄開発庁総合事務局総務部人事課	係長他	2
66	"	沖縄市立諸見小学校	教 諭	1
67	6月7日	TBSラジオ	記 者	2
68	6月8日	琉球大学	学 生	2
69	"	NHK沖縄放送局	記 者	1
70	"	浦添市企画部国際交流課	課長他	3
71	6月12日	沖縄県立玉城少年自然の家	生涯学習指導員	2
72	6月13日	沖縄県広域学習サービス事業	「国際理解講座」受講者	35
73	6月15日	NHK沖縄放送局	記 者	2
74	6月16日	沖縄国際大学	学 生	4
75	6月19日	宜野湾市立嘉数中学校	教 諭	1
76	"	浦添市企画部国際交流課	課長他	3
77	6月20日	浦添市立浦添小学校	校長他	4
78	6月22日	浦添市立前田小学校	教 諭	4
79	"	座間味村立座間味中学校	教諭および生徒	3
80	"	沖縄県立鏡が丘養護学校	教 諭	2
81	"	浦添市立浦添中学校	生徒および父母	4
82	6月28日	浦添市立浦添小学校	教諭および生徒	114
83	"	沖縄県看護協会	職 員	2
84	"	沖縄県中部土木事務所	職 員	3
85	6月30日	沖縄県立教育センター	職 員	2
86	7月3日	沖縄県立玉城少年自然の家	生涯学習指導員	3
87	"	浦添市制30周年記念/日系人招へい事業	南米日系人(浦添市人会会員)他	12
88	7月4日	琉球大学	学 生	3
89	"	浦添市立当山小学校	教 諭	4
90	"	浦添郵便局	局長他	3
91	"	沖縄県立那覇西高等学校	教 諭	1
92	7月5日	NHK沖縄放送局	記 者	1
93	"	沖縄県国際交流・人材育成財団	職 員	2
94	7月7日	沖縄タイムス社	記 者	2
95	"	沖縄県立芸術大学	学 生	1
96	7月9日	(社) 沖縄青年会議所	職員他	100
97	7月10日	沖縄国際大学国際交流センター	韓国/台湾留学生他	32
98	7月11日	浦添市前田自治会	会 長	1
99	7月12日	沖縄県立名護高等学校	教諭および生徒	17

No	月日	所 属	来 館 者	人数
100	7月15日	沖縄県立那覇西高等学校	教諭および生徒	80
101	7月17日	沖縄県立向陽高等学校	生 徒	5
102	〃	浦添市立浦添中学校	生徒および父母	3
103	〃	NGO 沖縄	会 員	15
104	7月18日	琉球大学	学 生	7
105	7月19日	沖縄県国際交流・人材育成財団	職 員	1
106	7月25日	名護市議会	議長および市議会議員	7
107	9月13日	豊見城村教育委員会英会話クラブ	会 員	7
108	〃	沖縄ボーイスカウト那覇4団	団員および父母	17
109	7月27日	島尻教育研究所	教 員	7
110	〃	浦添市立浦添中学校	生徒および父母	10
111	7月28日	具志川市教育委員会	職 員	16
112	7月29日	NGO 沖縄	会員他	100
113	7月31日	那覇市立城西小学校	生徒および父母	3
114	8月2日	国際理解教育支援セミナー	受講者(教員)	70
115	〃	沖縄タイムス社	記 者	1
116	8月3日	農林水産省那覇植物防疫事務所	職 員	7
117	〃	浦添市城間自治会	会 長	1
118	〃	沖縄県議会	県議会議員	1
119	8月5日	城間自治会他	自治会会員他	45
120	8月9日	沖縄ゾンタクラブ	会 員	2
121	8月10日	沖縄県国際交流・人材育成財団	職 員	2
122	〃	社会福祉法人沖縄コロニー	所 長	1
123	8月11日	名桜大学	学 生	2
124	8月15日	第十一管区海上保安本部海上環境課	課長他	5
125	8月17日	読谷村立古堅中学校	校長他	2
126	8月18日	沖縄県文化環境部文化国際局国際交流課	職 員	4
127	8月20日	浦西中学校 PTA	役 員	38
128	8月23日	法政大学	学 生	1
129	〃	沖縄県立盲学校	教 諭	2
130	9月1日	上間小学校	児 童	6
131	9月5日	JICE 本部	職 員	1
132	〃	ISME	職 員	2
133	9月6日	中城村企画課南米移住者	村職員および研修生	5
134	〃	北谷病院	職 員	2
135	〃	知念村教育委員会	職 員	1
136	〃	名護高校	教 諭	1
137	9月8日	琉球大学	学 生	1
138	9月14日	糸満市教育委員会	委 員	3
139	〃	沖縄県立南部農林高等学校	教 諭	1
140	9月18日	浦添市役所	職 員	1
141	〃	沖縄協同病院	職 員	1
142	〃	日本文理大学	学 生	1
143	9月20日	浦添市役所	職 員	1
144	9月21日	前田幼稚園	先 生	2
145	9月22日	日本赤十字社沖縄支部	職 員	1
146	9月26日	沖縄県国際交流・人材育成財団	職 員	2
147	〃	パルティータ	職 員	2
148	9月27日	浦添市役所	職 員	1
149	9月28日	税務大学校	職 員	3
150	〃	琉球大学	学 生	2

No	月日	所 属	来 館 者	人数
151		日本青年協会	職 員	1
152	10月2日	浦添市立浦添小学校	児 童	5
153	10月3日	オキナワ Kid's イングリッシュクラブ	職 員	4
154	10月4日	沖縄県国際交流・人材育成財団	職 員	1
155	"	浦添老人クラブ		1
156	"	豊見城村立西崎中学校	教 諭	5
157	10月5日	豊見城村役所	村職員	2
158	"	(株) 沖縄イゲトー	社 員	1
159	10月6日	NTT 東日本研修センター	職 員	4
160	10月9日	NPO ワークショップ会員	会 員	68
161	10月18日	青梅市議会	市議会議員	8
162	10月20日	沖縄市立宮里中学校	生 徒	3
163	10月25日	沖縄県立小禄高等学校	生 徒	63
164	10月25日	浦添市立仲西小学校・国際クラブ	児 童	26
165	10月26日	国際交流人材育成財団	職 員	3
166	10月30日	北谷町立北谷小学校	職 員	2
167	11月1日	石嶺公民館	職 員	4
168	11月6日	レバノン大使・モロッコ王国大使	大使御一行	8
169	11月13日	兵庫県庁	職 員	1
170	11月15日	石川県議会	県議会議員	15
171	11月17日	北中城村立北中城中学校	生 徒	24
172	11月18日	インドネシア語会話交流会	会 員	10
173	11月24日	浦添市立浦添小学校	児 童	3
174	"	琉球大学	研究生	2
175	11月27日	南風原町立南星中学校	生 徒	11
176	11月28日	沖縄県文化環境部文化国際局・VRFスタディツアー	県職員・各国研修生	23
177	12月5日	伊是名村立伊是名中学校	生 徒	32
178	"	外務省	職 員	2
179	12月6日	韓国科学技術省	省職員	2
180	12月8日	ザンビア大統領	大統領御一行	20
181	"	外務省	職 員	1
182	"	沖縄タイムス・琉球新報	記 者	2
183	12月12日	沖縄看護大学	職 員	1
184	12月13日	島尻教育研究所	小中学校校長	60
185	12月14日	FASID・国際ソロプチミスト沖縄	職員・会員	29
186	"	知念高等学校	教諭・生徒	35
187	12月19日	沖縄テレビ	記 者	1
188	12月21日	中部病院	協力隊OB	1
189	12月22日	島尻教育研究所	職 員	7
190	12月27日	NHK沖縄	記 者	1
191	1月10日	那覇学園	園 長	1
192	1月15日	千葉県印旛郡富里町議会	町議員	11
193	1月16日	森川養護学校	職 員	2
194	1月18日	浦添市立牧港小学校	校 長	1
195	1月19日	東急建設(株)	社 員	1
196	1月22日	石川市議会	市議会議員	6
197	1月23日	IT 大平洋島嶼国事務局	局員他	26
198	"	日本コンベンションサービス	通訳員	2
199	1月25日	沖縄県立南風原高校	生徒・PTA・先生	80
200	"	沖縄ダイケン	会長他	3
201	1月26日	合志国際交流会	会 員	12

No	月日	所 属	来 館 者	人数
202	1月31日	沖縄県立美里工業高校	教諭・生徒	4
203	2月1日	沢砥幼稚園		1
204	2月6日	武蔵野市国際交流協会	職 員	1
205	2月15日	東京都立砧工業高等学校	教 諭	1
206	2月16日	大名児童館ボランティアクラブ	小中学生	14
207	2月20日	浦添市てだこ学園	受講者（高齢者）	37
208	2月20日	沖縄県内選挙管理委員会委員・職員研修	選挙管理委員・職員	55
209	2月21日	沖縄総合事務局課長補佐研修	職 員	15
210	2月27日	沖縄大学	学 生	2
211	8月16日	異文化コミュニケーションセンター	所 長	1
212	3月7日	向陽高校	学 生	2
213	〃	那覇市立石嶺小学校	教諭・児童	15
214	3月13日	農林水産省 ODA 関係担当者	職 員	4
215	3月26日	東京学芸大学教育学部	助教授他	3
合 計				2290

地域との交流・広報活動

● ふれあい講座

「ふれあい講座」は、沖縄国際センターと浦添市国際交流協会が共催して開いている市民講座です。沖縄国際センターの研修員を含む世界各国の人たちが、自分の国や文化の紹介を行い、地元の方々との親睦を図ります。

平成12年度「ふれあい講座」実績

実施日時	紹介国	発表者	参加者数
2000年 6月16日 (金)	アルゼンティン	沖縄国際センター研修員 Ms. Adriana Viglianco	40名
2000年 8月18日 (金)	シリア	沖縄国際センター研修員 Mr. Ammar Sabbagh 青年海外協力隊OB 島袋 克氏さん	36名
2000年 9月22日 (金)	パラオ	沖縄国際センター研修員 Mr. Jonathan Eberdong	40名
2000年10月20日 (金)	オーストラリア	浦添市国際交流協会会員 Ms. Clare Mchugh	54名
2000年11月19日 (金)	フランス	浦添市国際交流協会会員 M. Miguel De Jesus	55名
2001年 1月19日 (金)	マラウイ	沖縄国際センター研修員 Ms. Joyce Maganga 青年海外協力隊OG 高江洲 加津枝さん	57名
2001年 2月 9日 (金)	タイ	沖縄国際センター研修員 Ms. Siriphana Muensungkha Ms. Anchisa Yingsomboon Mr. Nattapol Intha-it	83名

平成13年度「ふれあい講座」予定

実施日時	紹介国	発表者	参加者数
2001年5月18日(金)	中国(アジア)	浦添市国際交流協会会員 崎原 麗霞さん	90名
2001年7月13日(金)	エジプト(中近東)	沖縄国際センター研修員 Mr. Salah M. A. Mohamed	102名
2001年9月21日(金)	クック諸島(大洋州)	沖縄国際センター研修員 Ms. Mary Kata	-
2001年11月16日(金)	(アフリカ)	未定	-
2002年1月18日(金)	(中南米)	未定	-

(毎回18:30開場、講演時間は19:00~20:00です)

● ODA民間モニター

ODA(政府開発援助)の事業の多くは海外で行なわれているため、一般の方々が直接現場を目にされる機会が少なく、「実体がわかりにくい」という意見も聞かれます。そこでJICAと国際協力推進協会(APEC)は、ODAの現場を直接国民の方々に視察していただく「ODA民間モニター」制度を平成11年から実施しています。平成12年度には各都道府県から男女各1名(東京、大阪、神奈川、愛知、埼玉は男女各2名)、47都道府県から合計104名の方々がモニターとして開発途上国を訪れ、日本政府が行なっているODA事業の視察を行ないました。沖縄県からは崎原盛親さんと舩田陽子さんが選ばれ、8月26日から9月2日にかけて中国を訪問、以下の事業を見学して回りました。

- ・北京市首都空港整備事業(有償資金協力)
- ・日中友好環境保全センター視察(無償資金協力・プロジェクト方式技術協力)
- ・中日友好病院(無償資金協力・専門家)
- ・北京市下水道処理場建設計画(有償資金協力)
- ・山西省大同市震災後教育条件改善計画(草の根無償)
- ・山西省大同市北部地域緑化計画(草の根無償)
- ・地球環境林センター建設計画(草の根無償)
- ・山西省陽曲県教育条件改善計画(草の根無償)
- ・河北省人民病院(青年海外協力隊)

視察の結果は9月15日に東京国際研修センターで一般の方々を対象に報告されました。また、沖縄から参加したお二人については、9月28日にも沖縄国際センターで帰国報告会を実施し、県内の方々に現地の状況を報告していただきました。

● マスコミ関係者・有識者現場派遣

国際協力の現場を広く国民の皆様を知っていただくために、マスコミ関係者や有識者に現地取材の機会を提供する制度です。2001年3月には琉球新報社の宮里勉記者がジョルダン、マラウイ、タンザニアを訪問し、それぞれの国で活動している「うちなーんちゅ」の姿や、沖縄で研修を受けた研修員の自国での活躍を取材。琉球新報紙上で10回にわたって報道されました。

● 国際交流フェスティバル

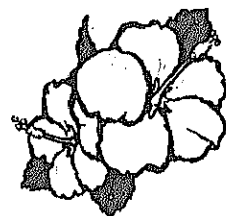
10月6日は国際協力の日です。東南アジア、南アジア、太平洋地域の発展のための協力機構「ロンボプラン」に日本が加盟した1954年の10月6日を記念して定められました。JICAは国際協力の日がある10月を「国際協力月間」と位置付け、国際協力への皆様のご理解を深めていただくために様々な広報活動を展開しています。沖縄国際センターでは、毎年10月に県内のNGOや地方自治体等の関連機関と連携し、国際協力の広報・普及のための催しを開催しています。平成12年度は、沖縄県NGO活動推進協議会、沖縄県国際交流・人材育成財団、沖縄県青年海外協力隊OB会と共催で、10月28日、29日の2日間にわたり「国際交流フェスティバル」を開催しました。国際交流フェスティバルでは、当センターを開場に、研修員が研修の成果を披露するイベントや国際協力に関わっている団体の活動紹介、コンサート、フリーマーケットなどが行われ、約6,000人の方々にご参加いただきました。

平成12年度沖縄国際センターの行事一覧

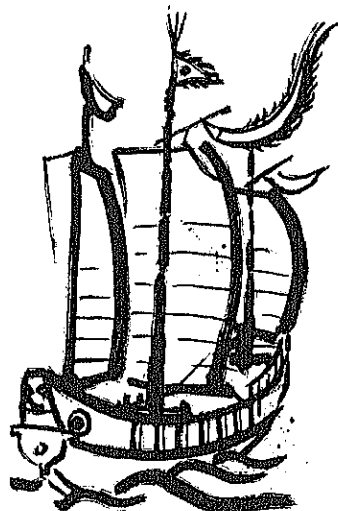
年 月 日	行 事 名
2000年4月5日	JICA 職員採用説明会 (会場：名護市／名桜大学)
2000年4月19日	JOCV・日系社会青年ボランティア合同募集説明会 (会場：沖縄市民会館中ホール)
2000年4月21日	JOCV・日系社会青年ボランティア合同募集説明会 (会場：名護市／ホテルゆがふいんおきなわ)
2000年4月22日	JOCV・日系社会青年ボランティア合同募集説明会 (会場：那覇市／沖縄県女性総合センター「ていりる」)
2000年4月22日	シニア海外ボランティア募集説明会 (会場：那覇市／沖縄県女性総合センター「ていりる」)
2000年4月25日	専門家一般公募説明会 (会場：OIC)
2000年4月27日	JOCV・日系社会青年・シニア海外ボランティア合同募集説明会 (会場：平良市／平良港マリナターミナルビル)
2000年4月28日	JOCV・日系社会青年・シニア海外ボランティア合同募集説明会 (会場：石垣市／大濱信泉記念館)
2000年5月13日	NHKのど自慢大会の予選に研修員が参加
2000年5月14日	JOCV・日系社会青年ボランティア募集説明会 (会場：OIC)
2000年5月14日	シニア海外ボランティア募集説明 (会場：OIC)
2000年6月11日	JOCV・日系社会青年ボランティア一次選考試験 (会場：OIC)
2000年6月16日	第一回ふれあい講座「アルゼンティン」
2000年6月25日	万座ハーリー大会に研修員が参加 (会場：万座ビーチホテル)
2000年7月15日	識名園お茶会に研修員が参加 (那覇市／識名園)
2000年7月16日	「浦添市国際交流の集い」に研修員が参加
2000年8月6日	「浦添てだこ祭り」に研修員が参加
2000年8月18日	第二回ふれあい講座「シリア」
2000年8月28日	高校生国際協力実体験プログラム (8月30日まで)
2000年8月31日	日系社会ボランティア募集説明会 (会場：那覇市／沖縄県女性総合センター「ていりる」)
2000年9月28日	開発投融资セミナー (会場：那覇市／ハーバービューホテル)



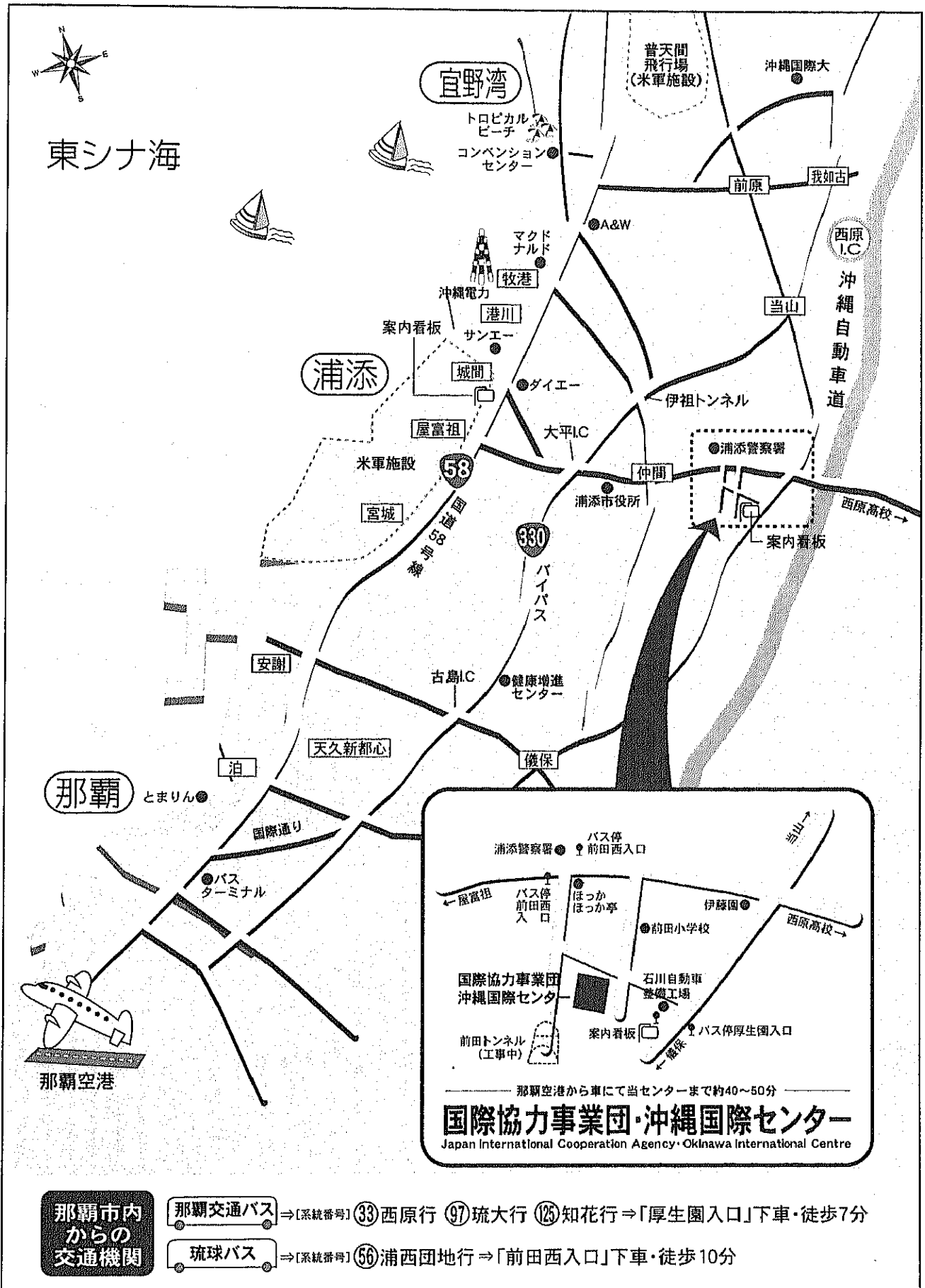
年 月 日	行 事 名
2000年10月20日	第三回ふれあい講座「オーストラリア」
2000年10月21日	青年海外協力隊秋募集説明会（会場：OIC）
2000年10月21日	シニア海外ボランティア秋募集説明会（会場：OIC）
2000年10月25日	青年海外協力隊秋募集説明会（会場：名護市／ホテルゆがふいんおきなわ）
2000年10月28日	国際交流フェスティバル
2000年10月29日	国際交流フェスティバル
2000年11月17日	第四回ふれあい講座「フランス」
2000年11月18日	「ありあけの里地域まつり」に研修員が参加（会場：浦添市／特別養護老人ホーム「ありあけの里」）
2000年11月26日	「いちやりばちよーでー国際交流の集い」ミニ運動会に研修員が参加
2000年12月1日	JAL民謡大会に研修員が参加（会場：那覇市／ホテル日航那覇グランドキャッスル）
2000年12月6日	青年招へい（中学教員グループ）センター訪問
2000年12月8日	ザンビア大統領ご訪問
2000年12月8日	国際親善の集い
2000年12月9日	那覇市石嶺公民館「家庭教育学級おやこ寺小屋」主催グラウンドゴルフ・もちつき大会に研修員が参加（会場：OIC）
2000年12月14日	FASID 国際協力人材研修研修成果報告会
2000年12月23日	バレーボール交流会／宜野湾市立真志喜中学校
2000年12月31日	国営沖縄記念公園事務所／（財）海洋博覧会記念公園管理財団主催「首里城公園新春の宴・万国津梁の鐘つきセレモニー」に研修員が参加
2001年1月4日	もちつき大会（会場：OIC）
2001年1月19日	第五回ふれあい講座「マラウイ」
2001年1月23日	大洋州 IT 推進セミナー
2001年1月24日	大洋州 IT 推進セミナー



年 月 日	行 事 名
2001年2月9日	第六回ふれあい講座「タイ」
2001年2月10日	国際交流・人材育成財団主催「外国人による日本語弁論大会」(研修員参加)
2001年2月17日	青年海外協力隊留守家族懇談会
2001年2月20日	那覇ロータリークラブ創立42周年記念式典研修員招待
2001年3月3日	WTOワークショップ (3月4日まで)
2001年3月3日	NGO-JICA 合同ワークショップ (3月4日まで)
2001年3月7日	「沖縄伝統芸人當間武三とその仲間達・特別ステージ」(会場：OIC)
2001年3月10日	(財)国際交流・人材育成財団主催「外国人による日本語弁論大会」研修員参加
2001年3月18日	「平和人権フォーラム」に研修員が参加
2001年3月21日	コンピュータ (UNIXサーバシステム設計者B) コース終了
2001年3月21日	コンピュータ (情報処理技術インストラクタ) コース終了
2001年3月29日	コンピュータ (PCサーバシステム設計者B) コース終了
2001年4月1日	技術協力のための日本語 (中上級) コース終了
2001年4月1日	技術協力のための日本語コース終了



JICA 沖縄国際センター案内図



那覇市内からの交通機関

- 那覇交通バス** ⇒ [系統番号] ③③ 西原行 ⑨⑦ 琉大行 ⑫⑤ 知花行 ⇒ 「厚生園入口」下車・徒歩7分
- 琉球バス** ⇒ [系統番号] ⑤⑥ 浦西団地行 ⇒ 「前田西入口」下車・徒歩10分



Japan International Cooperation Agency

国際協力事業団

国際協力事業団
沖縄国際センター

〒901-2552 浦添市字前田1143-1
電話:(098)876-6000 FAX:(098)876-6014
<http://www.jica.go.jp/branch/oic/>

